

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面1 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に教団などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、同じ飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面2 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事と比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面3 マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の中でも注意が必要。



場面4 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



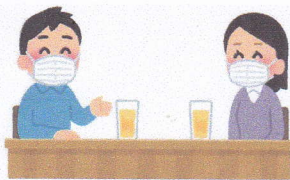
場面5 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



(出典) 新型コロナウイルス感染症対策分科会

感染リスクを下げながら会食をする工夫



大人数または長時間の飲食や飲酒を伴う懇親会などは、感染リスクが高まります。次のことに注意しましょう。

会食をする方へ

- 飲酒をする場合は、
 1. 少人数・短時間で
 2. なるべく普段一緒にいる人と
 3. 深酒・はしご酒などはひかえ、適度な酒量で
- 箸やコップは使いまわさず、一人ひとりで
- 席の配置は斜め向かいに（正面や真横はなるべく避ける）
- 会話するときはなるべくマスク着用
- 換気が適切になされているなどの工夫をしている、ガイドラインを遵守したお店で
- 体調が悪い人は参加しない

お店の方へ

- 各業種別のガイドラインを遵守
- 利用者に上記の留意事項の遵守を働きかける
- 新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）や埼玉県LINEコロナお知らせシステムのダウンロードを働きかける

関連リンク